



CONTENTS

特集 1	安全・適正就業	2
特集 2	理事就任にあたって	5
7区通信		9
就業先情報 (早良区)		17
会議開催状況		18
実績報告／事故発生状況		19
互助会だより		20
歴史散歩 (城南区)		22
事務局からのお知らせ／編集後記		23
広告掲載		裏表紙



絵：岡崎 幸雄（西出張所）

公益社団法人 福岡市シルバー人材センター

特集 1

安全・適正就業

シルバー人材センターでは、全国的に7月を『安全・適正就業強化月間』と定め、安全就業と適正就業の徹底を図るためさまざまな取り組みが行われています。当センターでは、会員一人ひとりの安全・適正就業への意識の高揚を維持するため、各出張所で『安全・適正就業促進大会』を開催しました。日頃の健康管理や就業の際の安全確認など、改めて見直す機会を作りましょう。

全国統一スローガン：「安全は 一声かける ゆとりから」

東

区



7月17日（火）にコミセン和白にて168名の会員が参加し、「安全・適正就業促進大会」が開催されました。石崎委員長のあいさつ、松尾理事から安全適正就業について説明があり、改めて「安全・安心」について決意を新たにしました。

続いて福岡市消防局の相田係長他による『いざという時の応急手当：あなたの大切な人 救えますか』と題して講演がありました。AED取扱の実技指導があり、応急処置の手順と実演に会員数名が挑戦し、難しいと言いながらも自信をつけていました。

安全・適正就業対策担当から一言

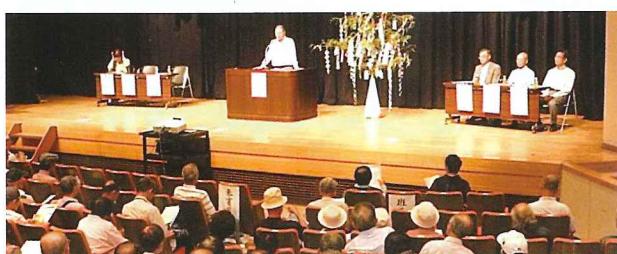
会員の事故、それはいつ何時起るか分からない状況で、安全担当としては絶対に事故が起こらないように願っています。しかし、意に反して事故が起こってしまうことがあります。絶えずあらゆる機会（新入会員研修会、地域懇談会等）を利用して、根気よく安全就業を周知していきます。

会員手帳の安全・適正就業基準の安全・適正就業心得を再度読み直していただき、事故が起こらないよう会員各自が自分の安全を守り、安全意識を心掛けさせていただきたいと思います。

広田 昌平

博多

区



日 時 7月7日（土）10:00～12:00

場 所 博多市民センターホール

参加人員 160名

開催内容

- 委員長挨拶 坂井委員長代行
- 無事故優良表彰 委員長表彰（3班1グループ）
- 最近の交通事故について
博多警察署 交通安全講話
- 安全就業宣言を全員で唱和

安全・適正就業対策担当から一言

全会員意識を合わせて事故ゼロを！

大会で街頭指導、配食サービス、福祉家事援助、竹下駐輪場の4班が無事故優良班として表彰されました。是非無事故を継続してください。

博多出張所では、平成23年度の事故発生件数は8件で前年より5件減少しました。年々右下がりの傾向が続いており、会員の安全意識高揚と日々努力の成果です。今後決意を新たに事故ゼロを目指し、安全就業宣言を全会員大きい声で唱和し、「よーし」と気合を合わせ、締めくくりました。

木室 和孝

中央 区



平成24年度「中央出張所安全・適正就業促進大会」が7月20日(金)13時30分から109名が参加し市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)で開催されました。

岩男委員長挨拶の後、安全適正就業について松尾理事及び首藤安全適正就業対策担当者から説明がありました。

引き続き、今回の講演は、南蔵院林覚乗住職による『心豊かに生きる』というお話をしました。

最後に全員で安全宣言唱和の後、大会が終了しました。

安全・適正就業対策担当から一言

安全担当者となって1年4ヶ月が経過しました。発生する事故に対して後手後手の処理に追われているのが実情です。

安全第一・安全は何にも増して優先される…掛け声だけに終わらせてはならない終着点のない永遠のテーマ「安全」普段の意識が大切だと思います。

一呼吸しての就業前のストレッチ運動等、個人の自主的な予備運動も効果があると思いますので、現場に出掛けて慣めていきたいです。あらゆるシーンに余裕を持って対すれば変化にも対応出来るのではないかでしょうか。的確な情報を得て、敏捷に対応したいと思います。

首藤 時男

南 区



日 時 7月20日(金) 10:00~12:00

場 所 アミカス高宮

参加人員 120名

開催内容

- 委員長挨拶 矢口彰英
- 安全担当理事挨拶 松尾慎次
- 安全就業宣言 平田信治
- 記念講話「知ってますか?認知症のこと」
南区役所地域保健福祉課 入澤由三子係長

安全・適正就業対策担当から一言

梅雨たけなわの今日この頃、屋外で作業に携わる方々のご苦労は大変なものと思います。

日程や約束の納期に追われ雨の合間を縫つての作業はそれぞれのリーダーや作業にあたる方々の気遣いが随所に生かされているものと思います。

暑い最中、皆様方の熱中症対策や健康管理を第一に“日々是安全”をもって元気に過ごされますよう祈念いたします。

江口 一

城南 区



日 時 7月13日(金)

場 所 城南市民センター

参加人員 60名

梅雨末期特有の激しい雨にもかかわらず、約60名の会員が参加、安全意識の高さがうかがわれました。

安全・適正就業対策担当から一言

仕事への取り組みには、3つの基本理念が必要です。①時を守り②場を浄め③礼を正すの言葉通り、この世は、時間と空間と人間関係で成り立っています。①時間厳守は、仕事をする上での大切な約束事であり、それが信頼へと繋がります。②清掃、整理整頓こそが和む就業場所への入り口であり③会員を敬い、日々の挨拶の励行が、自ずと各人の節度ある行動を促し、それが明るい、活気ある集いに連鎖していくことを切に望みます。

徳永 道夫

早良区



日 時 7月 20 日 (金) 13:30 ~ 15:30

場 所 早良市民センター

参加人員 90名

開催内容

○五島委員長挨拶

○井上・斎藤・桑野各理事の挨拶

○加藤安全担当の事故報告

○講演会 かとうたかお歯科医院 加藤卓雄先生

『高齢者のお口のケア』

大会に先立ち、このたび「安全標語」に入選された小林修 女性会員が表彰されました。

作品

「身を守る 仕事に合った みだしなみ」

安全・適正就業対策担当から一言

元気で明るく

7月 20 日 (金) 早良市民センターにて「安全・適正就業促進大会」が開催されました。初めに、「安全標語」入選者、小林修会員の表彰状授与を行いました。続いて、委員長・各担当理事からの安全に関するお話がありました。福岡市歯科医師会からは「歯の健康」について講演をして頂きました。“歯は健康の源” “歯が健康であれば体の健康も維持できる” “高齢者のお口のケア” “歯周病について” “入れ歯の手入れ法” 等、解り易いイラストで熱心に講演していただきました。

健康な身体の維持は「安全就業」に繋がると思います。しっかり食べて健康管理をして頂き元気に就業して、事故防止に結びつければ幸いかと思います。

加藤 義春

西区

開催日 7月 11 日 (水)

会 場 西市民センター

3階会議室

参加者 80名

(1) 西区 城委員長挨拶

(2) 講演会

講師 西警察署交通課後藤係長、同生活防犯課久積巡査及び高齢者交通安全サポート隊（2名）

演題 「高齢者をとりまく交通事故と日常生活」

後藤係長からは、「飲酒運転撲滅」「高齢者の機能変化の認識」「道路に潜む危険個所」等について久積巡査からは、詐欺・ひったくり等から守る為の話がありました。また、高齢者交通安全サポート隊からは、事故が多い道路横断について、夜間の歩行に対する注意などを、スライドを使用しながらお話をありました。

(3) 斎藤、松尾両理事の挨拶

(4) 家事班金子班長による「安全宣言」



安全・適正就業対策担当から一言

ほんの一瞬の不注意と油断が、事故に結びつくことを再認識させられ、「当たり前のこと」を当たり前にやってもらうことの難しさを痛感させられているこの 15 カ月間です。加齢とともに、健康・体力・技能を客観的に見つめる自己管理能力の衰えをお互いにカバーしあい、「安全こそすべてに優先する」との原点に戻り、1 件でも事故発生を未然に防止すべく、パトロールを中心に安全活動に微力ながら努めます。

鈴川 幸典

特集2

理事就任にあたって



常務理事
松田 譲

常務理事に就任して2年目になります。シルバー世代が安心して就業し、一方で社会から喜ばれる活動を進めるシルバー人材センターですが、福岡市のセンターも1983年6月に誕生し、来年は創立30年を迎えます。

「**樂善不倦**」当時の福岡市長の進藤一馬先生が当センターへ揮毫された言葉です。「善ことを楽しむうえで倦くことはない」と云うことでしょうか。シルバーに相応しい素晴らしい言葉だと思います。

農業のことわざに「農家の足跡は肥料に勝る」というものがあります。これは「どんな肥料も農家が田に入り、作物の面倒を見ることとは比べ物にならない。」という意味で、解決策は現場にあるということだと理解しています。私はこの二つの言葉を日々思い起こしながら、シルバー事業の更なる発展に鋭意取り組んでまいります。



東区委員長
石崎 哲夫

・新しい制度の下での公益社団法人として、更なる法令順守の基本姿勢で臨みます（シルバーに見合った仕事の請け方と仕事の仕方を進めます）

1. 新規就業先開拓と継続就業先のフォローと同業種への展開

- ・24年度就業開拓方針に沿った就業開拓活動
- ・ワークシェアやローテーション就業により就業機会の増を図ります

2. 安全かつ適正な受注と安全かつ適正な就業

- ・安全適正就業を推進し、会員の安全・安心・健康を守ります
- 3. 安全就業及び健康管理の徹底（会員各位への意識付け）
 - ・就業中の事故や賠償事故の撲滅 「事故0を目指します」
 - ・「安全と健康管理は自分から」「年に一度は健診の受診と報告」

4. 会員主体の出張所運営

- ・情報の共有化（会員手帳・シルバーだより・HP・支部掲示板はじめ安全大会・地域懇談会・女性会員の集い・会員の集い等の集会での情報交換や話し合いを深めます）
- ・会員目線の明るく・さわやかな出張所づくりを進めます

5. 会員力の充実

- ・会員数No.1・配分金高No.1・就業者数No.1・就業率Aクラスを目指します



博多区委員長
倉岡洋一郎

このたび区委員長に選任いただき、決意を固めていましたところ、突然の妻の病気のため、いろいろ考えた末、役員会の了承を得て、お休みさせていただきました。

委員長業務は、坂井前委員長にお願いしまして、代行していただいています。会員の皆様にはご迷惑やご心配をおかけ致しまして、大変申し訳なく思っております。お陰様で現在は順調に回復しており、まもなく業務に復帰できるところまでになりました。その時は、精一杯、責任を果たしていきたいと考えています。これから活動方針については、基本的には、現在、出張所が取り組んでいますことを、推進していくことに変わりはありません。

まず、就業開拓を最重点に取り組み、民間の就業先確保を目指します。民間の就業比率を50%程度まで引き上げて、より多くの就業機会を広げていきます。また、就業先継続維持のため、発注者と情報交換をしながら、信頼関係強化につなげます。さらに、「便利屋班」はより一層の拡大を図らねばと考えています。

次に、会員主体の出張所運営を推進します。地域懇談会の継続と出席会員増に取り組み、より多くの会員皆様の意見・要望を取り入れ、情報の公開を行い、情報の共有化を図り、会員と出張所事務所との「つながり」が実感できるように取り組みます。

最後に、会員の皆様一人一人がいつも健康で、そして、ご家族も共に健康で、一人でも多くの方が元気で就業できるように、日ごろから健康と安全就業についての話題の提供を心掛けていきます。

これからの二年間は、会員の皆様とともに、進んでまいります。ご協力、ご指導をよろしくお願いいたします。

中央区委員長
岩男 良二

私は平成24年5月30日定時総会において中央区委員長に承認を得て5月31日より委員長理事に就任いたしました。今回の委員長理事立候補にあたり私は3つの目標を表明いたしました。

1. 安全・適正就業を推進する

安全は全産業、教育界、家庭等すべてに最優先される課題です。センターにとっても安全就業は最重要課題です。安全意識向上のための普及啓発活動を実施し、現場の安全巡回を徹底します。適正就業では法令を順守、公正な就業機会の提供、長期就業会員の是正、就業現場の訪問活動を行い安全・安心に就業できる環境つくりに努力したいと思っています。

2. 事務所の業務改革

事務所は発注者と会員の窓口（拠点）です。拠点である事務所の効率化を促進します。従来の枠組みにこだわらず柔軟な組織体制の構築が必要と考えます。具体的には、担当業務の整備、情報の共有化、正副体制の確立。また、会員との相談・カウンセリング体制を強化して適材適所に就業を提供します。

3. 独自事業の研究と開発

独自事業は数年前から全国のシルバー人材センターで取り組まれています。福岡県でも直方市の食堂「殿町とろろ膳」や福岡市の市民パソコン教室等の成功事例が紹介されています。シルバーだよりやホームページ等で会員を募り研究会を発足、将来的な独自事業の立ち上げを目指したいと思っています。

南区委員長
矢口 彰英

今年度から公益社団法人として新たな出発をしましたが、ここ数年来の経済の低迷は依然として続いており、加えて東日本大震災や欧州に端を発したユーロ危機等により世界的にも影響を受ける日本経済の中にあります。このような中にあって南出張所ではまず安全適正就業の徹底を図り、就業機会の開拓に注力し、就業先、就業職域の増加に努めることが大きな課題であります。それにはお客様に信頼される出張所として認知されることが第一であり、また会員の強みを活かした受注先の開拓を進め、独自事業、新規事業の推進と地域貢献の活動の充実、地域社会のニーズ把握に努め、地域密着型の事業を企画提案して新たな事業の拡大に繋げていく必要があります。公益社団法人として全ての方から信頼を得た活動ができるように法令、組織倫理、社会規範などの遵守について徹底していきたいと思っています。

城南区委員長
永富 陽

会員の皆様と出張所の距離を短くして、元気で明るい応対（接遇）を心懸ける。未就業会員の積極的な就業紹介を図り、未就業会員の減少に努める。城南区の地域特性、状況を配慮し積極的就業開拓に努める。除草、刈払い、剪定、家事援助、高齢者施設、等高齢化に対応した就業開拓。

〈安全適正就業の順守〉

就業日数＝月10日、月＝80時間を順守し従来の就業先を再調査・検討し、適正就業、就業年限等、発注先と協議、説明、相談して時にはワークシェアリングを押し進める。安全担当者任せにせず出張所各担当者が就業先へ巡回し事故防止の声掛けをして事故（〇）を継続する。

健康診断を受診し個々の体調管理の意識付けを図る。（よかドック健康チェック受診を勧める）健康診断受診報告書の提出率アップ。

互助会活動のバックアップを行う。新規サークル（グランドゴルフ、ボランティア活動）の立上げ、会員さんへ各行事の参加、動員に協力。

早良区委員長
五島 勲夫

「和」と「人間関係」を大切に

人は出会いから始まり、行動と共にし、集団を作り、その中の一員として生活を送る、604年5月6日に憲法17条が発令されたが、第一条「原文は一曰（いちにいわく）」の書き出しに「以和為貴→訳文：和をもって貴しとなし・・・」とある。「和」は古（イニシエ）の時代から教訓として言い伝えられてきました。私は特に最近「和」と「人間関係」の大切さを痛感しています。一昨年から相次ぐ事業廃止で就業先が減少しています。当センターが生き残るにはリピート客の定着（定着率の向上）と新規客の拡大が課題です。それには本部、出張所、会員が一体となり活動する必要があります。その要因として大切なものが組織の（和）と発注者との（良好な人間関係）の構築です。

課題を構築するには、

1. 理事・事務局・会員が一丸となり発注者から好感の持たれる体制作りをすること。
2. 団体・チームの内部が明るく元気で笑顔のある職場環境を作ること。
3. 知識・能力・技術など経験を活かせる就業先の開拓を行うこと。

具体的には、官公庁・民間企業・個人の方との良好な人間関係を構築し、発注者の要望はできる限り柔軟性をもって聞き入れ、当方の要求（安全適正も含め）率直に言えるような人間関係を作る必要があると思います。特に、本部や出張所の方針は現場の実情を把握し実態に沿ったものであること。即ち現場が安全に就業し易い環境を作ることが発展に大きく寄与することだと思います。会員は発注先から信頼を得られる仕事、好感の持たれる態度、言葉づかいなどリピート客の定着率を確保することだと思います。現在、接遇研修や講習会など仕事の技術や能力の向上を目的に多くの教育が開催されていますが、これは主に発注者や利用者向けが中心です。この教育を効果あるものにするには、内部体制の充実とチームの「和」が大切と思います。チームや組織が元気で明るく笑顔のある職場環境を構築し共働・共助の基で発注者や利用者から好印象を持たれてこそ真の接遇であり真の就業と言えるのではないでしょうか。チームの和、発注者との人間関係（和）がクレーム発生を抑え好意度を向上させることで風潮による宣伝効果も期待できる可能性もあります。このことを私は機会あるごとに早良出張所の会員の方に呼びかけてます。そして、毎日が美味しい晩酌であり美味しいご飯でありたいものです。



西区委員長
城 千賀男

シルバー人材センターの基本理念を愚直なまでに貫く精神

基本理念「自主・自立・共働・共助」はシルバー人材センターのもとで活動していく上での、全会員の行動指針であり、本来あるべき姿であると認識しています。この理念のもとに、これまで嘗々として築き上げてこられた諸先輩に頭が下がる思いであります。この4月から公益社団法人として動きだし、活動するうえで色々な縛りがありますけれども、それもこれも、シルバー人材センターの活動が真に、お客様、地域、市民に喜ばれ信頼されるための守るべき最低限の縛りであります。コンプライアンスと言えば何か難しい響きを感じますけれども、かしこまる必要はありません、定められたことを定められた通りにやればよいことです。皆さんが日頃、家庭で、またはお隣さんと、また町内の行事等で、何のトラブルもなく日々暮らしておられることと何も変わることはない訳であります。言い換えれば一般常識を備えていれば問題ないことであります。私も、シルバー会員として入会し3年間剪定班のリーダーとしての経験のみで、今回いきなり委員長理事に押されシルバーのイ・ロ・ハも解らない中での就任となり戸惑うばかりであります。しかしながら、このポストに就いた以上は、会員の皆様がシルバーに入って良かった、仲間が出来た、孫が喜んだ、お客様が喜んでくれたといった声が沢山聴けるようまた、多くの会員の方々が、安心して就労できるような環境作りとセンターを目指して、基本理念を愚直なまでに貫く覚悟であります。

最後に会員の皆様はじめ、役員、事務局の皆様の今後のご協力を宜しくお願ひ申し上げます。



監事
大石 雄三

当センターの定款では、監事の仕事は「理事の職務執行を監査し、法令で定めるところにより監査報告を作成する」というものです。

さすがに、理事の職務執行を監査するということは口幅ったいことで、要は理事の方々に法令違反やコンプライアンス（ここで言うところのコンプライアンスとは、単に法令順守に止まらず道義的な意味を含む）違反をして欲しくないということで、古い言い方かもしれませんが「お天道様が見ているので悪いことはできない」と言われるように、監事の仕事がお天道様に当たるのではないかと思います。

そのためにはあらゆる会議に出席し兆候をつかみ、理事の方々との良好なコミュニケーションを基に、事前に法令違反等の芽を摘むことにあるのではないかと思います。

会員の皆様には、「なぜ・どうして」等の疑問が湧くこともあると思いますが、この福岡市シルバー人材センターが永遠に続くためにも、適正就業で就業率を向上させることが必要です。

是非趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。



専任担当理事
松尾 憲治

毎年7月は安全・適正就業強化月間として各地で安全促進大会が開催されますが、本市でも7出張所で開催されました。

私は今回6出張所の大会に出席させて頂きましたが、各出張所では委員長を先頭に事務局が一丸となり色々趣向をこらした催しが計画されていました。

例えは所轄の警察署による「高齢者の交通安全」福岡市消防局の救急隊員による「AEDの実演」、区役所の担当者による「認知症について」の講演、篠栗南蔵院の林覚乗ご住職による「心ゆたかに生きる」と題する講演など多岐に渡り非常に勉強になりました。

また、梅雨の時期で4会場では豪雨になりましたが、それでも沢山の会員の皆さまに出席して頂きまして本年の安全大会は大成功の内に終了致しました。

各出張所の皆様ご苦労さまでした。

会員の皆さん梅雨も明けた現在これからが夏本番です。自分の健康は自分で管理すると共に自分の身体機能の低下を自覚して安全就業に励み、シルバー人生を有意義にお過ごし下さい。

専任担当理事
樋口 章子

平成24年6月に福祉家事援助サービス班の専任担当理事に任命いただきました。中央出張所において家事援助班の担当者として、多くの発注者の方にお逢いし、会員の皆様のご苦労されているお話を伺いしコミュニケーションを取ってまいりました。この様な仕事の経験や実績で修得した事を生かしていきたいと思っております。少子高齢化が進む中で、女性の観点から、家事援助サービス・子育て支援・高齢者福祉サービスがいかに大切か実感しております。地域社会に密着したサービスをと心がけてまいります。その為には七出張所が今一度同じ方向性で、会員の皆様一人一人がスキルアップし前進しなければいけないと考えています。積極的に基礎研修、料理講習会、子育て支援講習会、掃除講習会など参加していただき、お客様にシルバー人材センターの一員として喜んでいただける様に充実した研修を努力していきます。女性会員の拡大、女性会員の就業先拡大を心がけてまいりますのでご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

駐輪場等公共関係業務の課題

早良区出身の齊藤でございます。引き続き公共関係の仕事を担当することになりました。皆様のご協力のほどを宜しくお願いします。

さて、公共関係の仕事とは、福岡市の放置自転車対策事業の一環として、市営駐輪場の管理・運営及び街頭指導業務等を始めとして、配食サービス、リサイクルステーションの管理等、多岐にわたって市から業務委託を受けて行っているものです。

特に、駐輪場の管理・運営につきましては、24年度の定時総会で、事業計画の基本方針として、「福岡市指定管理者制度に基づき駐輪場の管理業務を受託し、高齢者が裁量を持ちながら経験を生かした市民サービスを行い、多くの就業の場を確保していく。」と提案し、承認されたところです。したがって、駐輪場就業会員の皆様にはこの基本方針に基づき、適切で円滑な業務運営を心がけていただき、利用者である市民や発注者である福岡市の信頼を失うことのないよう努めていただきたいと思います。このためには、適切、適正な業務処理及び更なる接遇力の向上を目指し、トラブルやクレーム防止に努めることが大切であると考えます。また、今般作成した「改訂版駐輪場運営要領」も併せ活用し、役立てていただきたいと思います。

最後に、他の公共関係の仕事につきましても、市役所等の予算が厳しい中、引き続き仕事をいただけるように各就業会員は、接遇面を中心に資質の向上を図り、市民や福岡市の不信を招かないようにすることが大切であると考えていますので、皆様のご協力を宜しくお願ひする次第です。

質の高いサービスの提供で地域社会に貢献を!!

このたび、職群関係担当に就任いたしました。安全で、かつ適正な就業のできる環境作りに務めます。みなさんのご指導とご協力を心からお願ひ致します。職群関係と申しますと、主に剪定業務、刈払・除草業務、それに公共の公園・緑地の刈払・除草業務あります。毎年、傷害事故・賠償事故が多く発生する部門です。そのためには、会員のみなさんが、健康であることが、一番大切なことだと思います。就業を希望される方々は、健康診断受診報告の提出をお願い致します。職群関係は、歴史と伝統があり、諸先輩の方々が、安全に就業し、事故が発生しにくいために、仕事のすすめ方を決めております。就業する時には、その規律、作業方法、周りの安全を一度確認してから、作業を開始して下さい。会員のみなさんが、健康で、楽しい就業が、出来るよう、微力ながら頑張ってまいります。皆さまのご鞭撻とご指導、よろしくお願ひ致します。

本年6月より就業開拓・普及啓発・広報・筆耕の担当に携わっております。特に就業開拓普及啓発については、

会員の就業機会の確保拡大のため、市民及び事業者等にシルバー事業理念の理解と普及啓発を図りながら、民間企業・公共・個人家庭等への就業開拓に取り組みます。具体的に、

1. 就業開拓員活動について

- ①7名による月12日の就業開拓活動（訪問活動・ポスティング活動等）
- ②月1回の情報交換会

2. 普及啓発活動について

- ①10月の普及啓発月間－シルバーフェスティバル参加・街頭キャンペーン実施

3. 地域との共生－地域班長、会員への協力依頼－ポスティング等近隣・知人・友人等とのPRによる情報収集－。

特に力を入れる就業開拓先

1. 市役所、区役所、指定管理者等公共関係への取組
2. 農協、果樹園、園芸場等、請け得る仕事の情報収集
3. 一般企業、個人家庭（福祉・子育て支援・家事援助・除草・剪定等）
4. 派遣事業への積極的展開

就業機会の確保・拡大には、先ず当センターのPRが大事ですが、会員一人一人がPR意識を持っていただき、就業先を求めて、7区就業開拓員と共に開拓活動を推進していきたいと思っております。

専任担当理事
井上 伸正専任担当理事
桑野 孝春

● ● 7 区通信 ● ●

東

区

ひがしく

ラブアース・クリーンアップ 2012



今年の「ラブアース・クリーンアップ 2012」は、5月 27 日（日）午前 8 時 30 分から御島崎海岸一帯での一斉清掃を行いました。東出張所から、会員有志 40 名余が参加しました。

早朝の清々しい御島崎海岸線沿いの清掃は、地球環境美化と地域貢献の実践の場として毎年参加しており、参加した会員は、あらためて環境に優しい生活とは何かを問い合わせ直すいい機会を得たのではないかでしょうか。

東出張所は、美しい海岸・海を守るために毎年一斉清掃活動を行っています。

第2回役員会開催



6月 21 日（木）出張所会議室において役員 42 名が出席し役員会が開催され、石崎委員長

より 5 月累計実績や公益社団法人制度の下でのセンターのあり方、適正就業のすすめ等についての説明がありました。また事故や傷害、トラブル等の発生については迅速な報告、手続きを取るように説明がありました。広田副委員長からは、事故発生状況の報告と対策、安全適正就業大会や健康診断受診について、また熱中症・食中毒への注意喚起の話があり閉会しました。

地域懇談会開催



7月 5 日（木）香椎公民館において香椎・下原 B・香椎東 A の合同懇談会が開催されました。

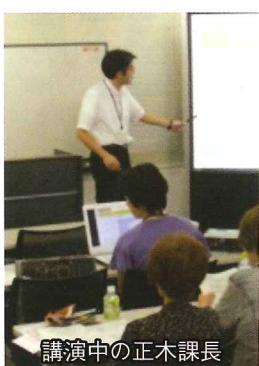
石崎委員長から公益社団法人化について、安全適正就業強化月間、東出張所の活動状況、県シ連の技能講習等の説明がありました。広田副委員長からの事故発生状況の説明のあと、いろいろな意見交換があり、和やかに懇談会を終えました。このほかに香椎浜、香住ヶ丘、千早、香陵地域の懇談会が 7 月に開催されました。

8 月は城浜・下原 A・菖松地域、9 月は青葉・八田・舞松原・松島・若宮・多々良地域で公民館単位での開催が予定されていますので、多数の出席をお願いします。

福祉・家事援助サービス班の 全体会議

7月 13 日（金）出張所会議室において、全体会議が開催されました。

当日は大雨警報が発令中で交通機関が混乱している中、約30名の出席がありました。委員長のあいさつに続いて班長・リーダーの紹介と、樋口理事から家事援助班の就業の現状と福岡市の子育て支援講習会への参加申込みについて案内がありました。



講演中の正木課長

続いて、福岡市こども未来局子育て支援課の正木課長より『地域における子育て支援』について講演をしていただき、子育て支援の必要性と現状について理解を深めました。子育て支援はこれからの拡大分野でもあることから参加会員は熱心に聴き入っていました。

最後に広田副委員長から家事援助班の安全就業について説明報告があり、全体会議を終了しました。

広報委員 安武 和芳

博多

区

はかたく

堅粕地域懇談会開催



懇談会は6月29日（金）10時から、堅粕公民館に事務所及び堅粕地域会員の15名が出席して開催されました。高橋地域班長の司会で、出席者と就業状況について紹介があり、坂井委員

長代行の話がありました。要旨は次の通りです。

地域懇談会は、4年前から実施しており27地域で実施しています。懇談会は、地域の皆さんと顔を合わせて懇談する場として、またいろいろな情報をお知らせする機会もあります。

これからもよろしくお願いします。

最近、事務所に携帯電話からの苦情が多く寄せられています。苦情の内容としては、就業者の対応や言葉遣いが悪いなどに集中しています。原因は最初の対応の仕方や言葉遣いです。皆さんも気をつけていただきたいと思います。

次に、健康と安全を重視しています。就業されている会員は年1回「健康診断の受診報告」を提出することになっています。「よかドック」等を利用してください、ご自分で健康管理をされ体調を整えて、安全に就業されるようお願いします。就業状況ですが、事務所前に毎月「仕事をお探しの方へ」を掲載し紹介しています。ホームページでもご覧になれますし、シルバーだよりも同封しています。是非、ご利用ください。

また、7月7日に安全大会が開催されますので、多数のご参加をお願いします。

松尾理事から、交通事故関係の話や前田副委員長から就業状況と配分金等について説明がありました。

最後に、要望・意見・質疑などありましたが、会員の理解を頂いて終了しました。

空港駐輪場会議開催



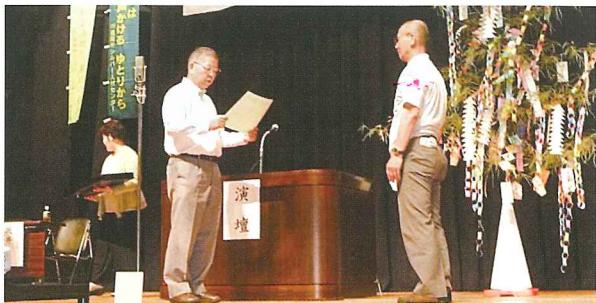
7月4日（火）10時から、席田公民館で坂井委員長代行及び空港駐輪場就業会員の18名が出席しました。前田副委員長は、「会員のために何ができるかを考えながら頑張りたい。また、委員長の思い（運営方針）を推進・実行できるよう努力したい」と話されました。

整理業務は、朝・昼・夜の整理の仕方を変えて、

利便性向上に努め顧客サービスに応える。

受付と整理はお互いに連携を密にして、駐輪場スペースの効率化を図ることなど会員の対応が決まりました。

無事故「0」推進の班・グループ表彰



7月7日（土）の24年度「安全・適正就業促進大会」において、無事故「0」を達成した職群班・グループに委員長表彰が行われました。

無事故年数	表彰された職群班・グループ	班長リーダー	対象人数
1	街頭指導班	桜井 厚宏	100
1	配食サービス班	松井 洋治	12
1	福祉家事援助班	神島 律子	50
1	竹下駐輪場グループ	下河内宣勝	18
3班1グループ			180

※本年度無事故「0」表彰のうち、3年表彰・5年表彰の該当はありませんでした。

『最近の交通事故状況について』と題して、博多警察署の交通安全講話があり、最後に「安全就業宣言」を全員で唱和して閉会しました。

「安全就業宣言」抜粋…本日の大会を機に決意を新たにし、作業前の安全確認や用具の点検、危険予知活動の推進に努め、日々安全就業に努めることをここに宣言します。

広報委員 松井 洋治



役員会開催

6月22日（金）午前10時から、出張所会議室で役員会が開催されました。



- 岩男委員長の挨拶に続き24年度4～5月配分金実績報告が配布された資料により詳細に説明があり、「対前年比では屋内清掃作業が大幅に減少しています。その原因は、保育園等からの撤退によるもので、この傾向は当面続くと思われます」と説明がありました。
- 首藤安全担当からは24年度4～5月の事故発生状況について資料により報告がありました。中央出張所では2件発生しております。特に刈払除草作業は繁忙期に入りますので、マニュアルを守り万全の体制で就業するよう要望がありました。
- 樋口理事からは、「子育てや高齢者など困っている方がいらっしゃったらセンターに相談されるよう働きかけてください」と、お話をされました。
- 荒木互助会代表幹事から23年度互助会決算報告が資料により説明されました。
- その他24年度中央出張所の新体制について報告があり、質疑応答の後終了しました。

ラブアース・クリーンアップ2012



恒例となった全国各地の清掃活動が中央区でも大濠公園、福浜海岸で実施され中央出張所から47名が参加しました。

当日は朝から快晴で参加者は汗だくで清掃されていました。日頃、行政及び地域住民による清掃が徹底されているせいか、今回集積されたゴミ袋の量から見ても年々減少していることがうかがえます。福岡市民の憩いの場として人気

の大濠公園は、生活環境が良くなり、野鳥・魚・トンボなど数多く見られるようになりました。

今後も清掃活動の継続のためにも参加を心がけたいと改めて思った1日でした。

広報委員 井手上 勉

南

区

みなみく

ラブアース・クリーンアップ2012



昨年は、20年目にして初めて雨のため中止となりました。今年は5月27日（日）午前9時から会員10余名が参加しました。例年通り、塩原北公園には約200名地域住民・企業・行政が集合しました。開会式の後、参加者は足早に軍手や火バサミ、ゴミ袋などを持参して那珂川の河畔（河川）・河川敷を約1時間に亘り清掃しました。

この活動は、市民・企業・行政が協力し、海岸や河川・公園などの一斉清掃を行う地球環境美化活動です。この取り組みは、福岡市で始まり、九州・沖縄・山口県で遠くは石川県や北海道、さらには韓国の釜山まで活動の輪が広がっています。

スタッフの方は、「この清掃を通じて自分たちの住む地域を大切にして欲しいですね」と語っていました。

印象に残ったのは、ボーイ・スカウトの一団が参加していました。この体験を通して、今後のボランティア活動に生かされることを期待します。

第2回安全・適正就業対策会議

— 安全はすべての作業に優先する —



6月22日（金）13時30分より南出張所会議室において、矢口委員長、江口副委員長、職群班長・会員各1名ずつの計18名が参加して、標記の会議が開催されました。

初めに、矢口委員長より「日頃から安全に対するご理解とご協力に感謝します。会員一人一人が事故を起こしてはならないという意識を持つことです。事故ゼロを目指して頑張りましょう」と挨拶がありました。

続いて、江口副委員長から、本日の議題である①24年5月末事故発生状況報告②安全・適正就業への取り組みの二点について、詳細な説明がありました。要約しますと下記の通りです。①全市の24年5月末の事故件数は8件で、前年度比で1件の増加でした。その内、南出張所は2件で前年度と比べると1件の減少でした。事故内容別に見ると傷害事故1件（前年度比0）、賠償事故1件（前年度比+1）、自動車事故0件（前年度比-1）でした。今回の南出張所の事故発生時刻は2件とも就業開始直後です。

例1 傷害事故（刈払）は芝刈り機で作業中に、雑草に埋もれていた鋼管棒が跳ねて、本人の左足甲に当たる。

例2 賠償事故（刈払）は校内の刈払作業中に、エアコン室外機の配線を刈払機で切断した。

②事前のリストに沿った安全チェックをすること。それから事故が発生したら、当人の怪我の有無や様子を早急に出張所に連絡し、事故報告書の作成に協力することを強調されました。

連絡事項

- ・資料「熱中症の予防と対策」を読んで、健康管理の参考にしてください。
- ・自転車等事故に遭遇した時は、示談で済ませないで必ず警察に連絡してください。
- ・7月20日は「安全・適正就業強化月間」の行事に多数参加されるようお願いします。場所は高宮アミカス4F(10:00~12:00)で、特別講話「知っていますか？認知症のこと」。〈安全・適正に就業するために安全心得〉は承知と思いますが、再確認すると思って読んでください。頭の中では理解できても、行動しようとすると難しいです。各職群で具体的に検討されるようお願いします。

〈安全・適正に就業するために安全心得〉

- ①作業は、安全第一を心がけ、急いだり、あわてたりしないようにしましょう。
- ②器具類は、使用する前に必ず点検しましょう。
- ③服装・履物は作業に合った動きやすいものにしましょう。
- ④作業前には軽い柔軟体操をして体をほぐしましょう。
- ⑤加齢による諸機能の低下を十分認識し、無理をしないようにしましょう。
- ⑥作業現場では、常に整理整頓を心がけるようにしましょう。
- ⑦共同作業では合図・連絡を正確に行うようにしましょう。
- ⑧帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気をつけましょう。
- ⑨健康には常に注意し、健康な状態で就業しましょう。
- ⑩仕事の前日は十分睡眠をとるように心がけましょう。

あらゆる事故は不用意・不養生・不用心の一点でもあると事故につながることを肝に銘じてください。

広報委員 高濱 一郎



業強化月間です。城南区でも会員による24年度の安全・適正就業促進大会が7月13日午後1時30分、城南市民センターで開かれました。当日はあいにくの梅雨末期特有の激しい雨にもかかわらず、およそ60名もの会員が参加。講師の話に熱心に耳を傾けていました。

大会の概要は次の通りです。

永富委員長は「城南出張所は特に安全に力を入れており、会員の皆さんの協力をお願いします」と挨拶。続いて松尾理事は「大雨の中、多くの会員が参加されていますが、これは会員の安全意識の高さを物語っています。景気の低迷、安全でない仕事や指揮命令系統があやふやな仕事からの撤退、補助金の減額など、センターにとって厳しい状況が続いているが、安全や健康は自分で守るという意識を持って毎日を過ごしていただきたい」と呼びかけました。

今年の事故発生状況が、金子副委員長より「今年4月から今日まで、城南区において傷害事故、賠償事故、自動車事故のいずれも発生していない。会員の安全に対する取り組みと意識の高さの表れではないかと思います」と話があり、全市の事故発生状況報告の後、次の講話やビデオ放映がありました。



- ①早良警察署の宗雅晴交通総務係長による「交通講話～高齢者の交通事故防止～」
- ②城南区役所の大野好文区政推進部総務課生活

城南

区 じょうなんく

安全適正就業促進大会開催

7月はシルバー人材センターの安全適正就

安全推進専門員による「交通安全ビデオ～高齢者の交通安全…いつまでも安心して暮らすため～」の放映

③福岡市役所の市民局生活安全課八尋敏嗣氏による「防犯講話」

[職群班長及び出張所就業会員の変更と増員]

この度、配食班長に宮野喬さんが就任しました。また出張所の基幹事務は原政江さんが担当することになりました。

広報委員 藤 勇三

早良

区

さわらく

駐輪場責任者会議開催



5月17日（木）の午後、出張所会議室で今年度第1回駐輪場責任者会議が行われました。出張所管内には、6箇所（西新、藤崎、室見、野芥、賀茂、次郎丸）の駐輪場があり、各駐輪場のリーダー及びサブリーダーの12名が出席して、又本部からは斎藤理事と駐輪場担当の山田職員も出席されました。

先ず五島委員長から、公益社団法人化に伴うセンターの概況及び出張所の概況について報告がありました。

次に斎藤理事から、先般行われた駐輪場のモニタリング結果報告がありました。

続いて山田職員から、新しく改訂される福岡市有料自転車運営要領について説明があり、井上公共担当からは就業中の接遇について注意事項と最近発生したお客様からの苦情等の報告がありました。

最後に、各駐輪場責任者の意見交換があり、閉会しました。

ラブアース・クリーンアップ2012



「ラブアース・クリーンアップ2012」が、5月27日（日）午前中に、昨年の雨天中止とは異なり天候に恵まれて開催されました。早良区では、百道浜と室見川の2箇所が実施会場となりました。早良出張所は、今年も室見川の河畔公園に会員54人が集まり、揃いのベストを着てこのイベントに参加しました。

最初に主催者から次のような挨拶がありました。

「この“ラブアース・クリーンアップ”は、福岡からスタートして21年目になります。前回の2010年の福岡市内での参加者は3万6千人で、全国では70万人でした。これで延14万人となりました。この活動は地球環境と地域行動の実践活動として、市民・企業・行政が協力して、海岸や河川など地域美化活動の一環としての清掃活動です。」

会場には、私達シルバー人材センターのほか、各地区の自治協議会・各小学校区・社会福祉関係・企業等の7団体と個人参加で総勢430人となりました。

4歳の孫娘と一緒に参加していたおばあちゃんは、「孫の足を強くすることと、公共施設でも綺麗にすることを覚えてもらえばと思って参加しました」とのこと。毎回参加している講倫館高校の女学生は、「ラブアースに参加するのは、私達の学校の伝統行事です。これからも続けます」とのこと。また、ある参加者は「たくさんゴミを拾おうと思って張り切って参加しましたが、ゴミが少なく期待外れです」とのことでした。

最後に、私達は集合写真を撮って散会しました。

地域班長会開催

6月22日（金）の午後に、出張所会議室で地



域班長 29 名が出席して隠岐副委員長の進行により地域班長会が開催されました。

先ず、五島委員長から次のような話がありました。

1 今期の概況報告

- ① 4～5月の配分金は前年比 101%で市全体の 95.6%を 5.4%上回っています。部門別では刈払が前年比 148%剪定が 144%と好調に推移しています。市全体でも同様に刈払が 118%剪定が 116%となっています。
- ② 4月から宿直業務が無くなり 15名の会員が転籍しました。
- ③ 5月末の会員数は 1,119 人（男 775 人・女 344 人）で、市全体では 7,056 人（男 4,680 人・女 2,376 人）です。出張所での最重要指標としている就業率は月平均 55.6%となり、前期の 58%を下回っています。市全体では 52.6%となっています。

2 その他

- ① 5月 27 日（日）に室見川河畔公園で「ラブアース 2012」が開催されました。
- ② 5月 30 日（水）に福岡市民会館で「平成 24 年度定時総会」が開催されました。早良出張所からの参加は 79 人と前年に比べて少ない状態でした。
- ③ 早良出張所で 5 月に 2 件のクレーム（配食班と緑のまちづくり班）が発生したことの報告がありました。

次に、加藤安全担当からは次のような話がありました。

- ① 4～5月の事故件数は市全体で 8 件ありました。早良出張所では 1 件の傷害事故が発生しています。現在も入院治療中です。
- ② これからは暑い中の作業となり熱中症には気を付けてください。
- ③ 7月 20 日（金）午後に早良市民センターで「安全・適正就業促進大会」を開催しま

すので参加をお願いします。

最後に、質疑応答があり散会しました。

「緑のまちづくり班」勉強会開催



6月 25 日（月）の午前中、早良出張所の会議室で、西出張所の「緑のまちづくり班」と合同で勉強会を開催し、早良出張所 9 名・西出張所 15 名の 24 名が参加しました。

先ず、早良出張所の五島委員長と西出張所の城委員長の挨拶の後、早良出張所の加藤安全担当から仕事をする上で心構えについて、次のような話がありました。

「福岡市から委託されて、市民が利用する公園の刈払除草をする公共事業であることを理解してください。又この仕事はチームワークが大切であり個人プレーは控えてください。」

続いて、早良出張所の鬼木班長と西区を担当している徳永リーダーがアドバイザーとなり、過去の事故の反省と班員として守るべき事項「就業の取り決め」(60 項目) の説明があり、質疑応答を繰り返しながら一つ一つ確認して散会しました。

広報委員 高橋 勉



地域班長会議開催



6月 22 日（金）に第 2 回地域班長会議が開

催されました。

藤原副委員長の司会で始まり、5月30日の定時総会を経て着任された城委員長の挨拶がありました。

冒頭、「先の定時総会に関して、出欠の葉書回収に格段のご努力をいただき、西出張所が一番に定数をクリア出来ました事を有難くお礼申し上げます」とお礼の言葉がありました。

続いて概略次のような話がありました。「今後のセンター運営には地域班長の一層のご協力が必要です。それは、就業先開拓において社会的に厳しい中、一番大事なことは先ず情報だと思います。その情報収集にも大いに班長の活躍を期待しているからです。

本日は理事の方々のご挨拶や、担当からのお願い・報告等ありますので、詳しくは次の機会にお話ししたいと思います。尚、シルバーだより配布に際しては、新しい会員手帳も合わせて配布していただくことになっております。我々会員の規則等詳しく書かれておりますので、後でよく読んでおいてください」。

続いて井上理事より、担当される分野についての抱負とお願ひの挨拶がありました。

次に、桑野理事より挨拶があり、担当する分野の抱負と今後の方針について話がありました。その中でも「普及啓発」について熱く語っておられました。

引き続き、鈴川安全担当から「昨年度では事故発生件数が、各出張所が前年度比低下している中で、我が西出張所だけが前年度より多かったことが非常に残念でした。今年度は幸い現在までゼロで推移しております。これからも是非会員皆さんのご努力をお願いします」と話があり、合わせて7月11日(水)の「安全・適正就業促進大会」に参加をお願いされていました。

最後に、互助会の米川業務委員から就任の挨拶と報告があり、基幹事務から連絡が行われ、閉会となりました。

『まごころ』を今日も届けて！

『まごころランチ』の配食は始まって12年に



なりますが、配食する会員の中にはお客様に対する思いが、少しずつ変わってくる人もいるようです。

「こんにちは、お弁当ですよ！」と声を掛けます。このような配食の中で一寸したお話ができたら、お客様とより一層のコミュニケーションを図ることで、配食が尚楽しく、配食し甲斐を感じるのでは？と人一倍思う会員に榎会員が居ます。「何とかお客様との間で心の通いが出来ないものか。メッセージを一言添えて配食できたら…」と思いつつ、「配食班に入ってまだ4ヶ月だから『厚かましい？』という思いから班長にも、事務担当にも言えず悶々としていましたが、思い切って事務担当に打ち明け、快く理解いただきました。

お客様からは早速御礼のお手紙が届きました。「まごころランチ配達の方へ 心温まるメモ、ありがとうございました。私は盲目なので、見える方に読んでいただきました。これは、音声ワープロで書きました。毎日おいしいお弁当を配達していただき、ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。」ちなみに、お弁当に添えたメッセージの内容は「これからも真心を届けます。」このように榎会員は、自分が配食するお客様全員にそれぞれ書いています。

当たり!!『プロ野球観戦券 抽選会』



5月17日に、今年のプロ野球ヤフードーム



観戦券の抽選会がありました。

各職群班から選ばれた9人が代表で「抽選」の籤を引きます。引く人も「もしかして自分に…」とのこともあります。籤を引く手にも力?が入ります。

「当たり! ○○さん」 その度に拍手!!

抽選会で初めて会う方もあり、和やかな中にも新鮮さを味わったひと時でした。

ラブアース・クリーンアップ 2012



福岡市が提唱したラブアースクリーンアップは、今年で21回目だそうです。

西区では、大原海水浴場、生の松原海岸、長垂海浜公園、今津浜崎漁港、二見ヶ浦海岸、能古島で実施されました。

西出張所では「生の松原海岸に16名」と「長垂海岸に11名」参加しました。

広報委員 岡崎 幸雄

早良区 さわらく



福岡インターナショナル・コミュニティ・スクール



よかトピア通りの室見川に架かる愛宕大橋の東側、百道中学校に隣接して「福岡インターナショナル・スクール」(FIS)があります。このFISの中に、日本人を対象として英会話スクールがあり、これが「福岡インターナショナル・コミュニティ・スクール」(FICS)です。

FICSは「小さいうちに英語環境の中で学ぶたい」との声に応えた学校で、現在は小中学校を中心に多くの生徒が保護者と一緒に通っています。最近は公立小学校でも英語の授業が本格的に取り入れられたことで生徒数が増加しています。それは、ネイティ

ブ・スピーカーによる英語を学ばせたいとする保護者が多くなつたことのようです。

ここには、早良出張所から「駐車場案内業務」2名と「校内清掃業務」2名の合計4名の会員が月曜日から土曜日まで交替で就業しています。

FICSの管理責任者の方からは、「シルバーハウス人材センターの皆さんには、来訪者の自動車の案内と校内の清掃をお願いしています。皆さんは明るく、又長年の経験によって仕事を適切に処理して頂いていますよ。大変助かっています」とのお言葉を頂きました。一方、会員の方からは、「FICSの職員の方々は親切で、働き易い就業先です」とのことでした。

広報委員 高橋 勉

平成24年度会議開催状況(6月～7月)

●理事会		
回	開催月日	議案
4	6月27日(水)	・シルバー人材センター正会員の入会について
5	7月25日(水)	・シルバー人材センター正会員の入会について
●総務部会(委員長理事の会議)		
回	開催月日	議案
3	6月20日(水)	・部会長、副部会長の互選について ・未収金対策について
4	7月18日(水)	・未収金対策の方針(案)について ・未収金対策について ・駐輪場の正月期間の就業について ・会員の出張所業務の就業に関する要綱の変更について
●業務部会(専任担当理事の会議)		
回	開催月日	議案
3	6月15日(金)	・部会長、副部会長の互選について ・専任担当理事の監督区分について ・平成24年度会議及び研修会のスケジュールについて ・平成24年度就業開拓基本方針について ・業務部会の取り組み状況について
4	7月19日(木)	・駐輪場の正月期間の就業について ・会員の出張所業務の就業に関する要綱の変更について ・カレンダーの作成について ・業務部会の取り組み状況について
●合同部会(総務部会と業務部会の合同会議)		
回	開催月日	議案
2	6月27日(水)	・平成24年度第3回「総務部会」及び第3回「業務部会」の報告 ・平成24年度5月事業の実績について ・福岡市緊急雇用創出事業について
3	7月25日(水)	・平成24年度第4回「総務部会」及び第4回「業務部会」の報告 ・平成24年度6月事業の実績について ・棲田保管所の事故について
●安全・適正就業対策委員会		
回	開催月日	議案
2	6月27日(水)	・事故状況について ・審議事項 ・事故報告、保険手続きについて
3	7月25日(水)	・事故状況について ・審議事項

平成24年度 実績報告

平成24年6月末現在

●会員数 7,088名

男 性 4,698名

女 性 2,390名

●就業者数 4,114名

●就業率 52.8%（月平均）

●事業収入 4億9,539万円

平成24年度 事故発生状況

平成24年6月末現在

●傷害事故 9件（前年同期 6件 前年比 + 3件）

●賠償事故 4件（前年同期 6件 前年比 - 2件）

●自動車事故 1件（前年同期 5件 前年比 - 4件）

●累計 14件（前年同期 17件 前年比 - 3件）

■傷害事故（5月1日～6月末日）

日付	就業中 途上	性別	年齢	仕事内容	事故の状況	部位	症状	傷害の程度		
								入院	通院	手術
5/5	就業中	男	71	刈払	芝刈り機で作業中に、雑草に埋もれていた鋼管棒（外柵の壊れた物）が跳ねて、自身の左足甲に当たる。	左足甲	裂傷	○		
5/14	就業中	女	68	ビル清掃	業務用掃除機を使い清掃作業中に、掃除機のホースに足を取られ転倒した。	膝	打撲	○		
6/5	途上	女	71	屋内作業	交差点内でバイク前輪の付着物を取ろうとして、ヘルメットを外し降車して前かがみになった際、左折してきた乗用車と頭が接触した。 その場では、会員に異常無く、相手の確認も無く別れたが、翌日から吐き気、ふらつきを発症した。	頭	打撲	○		
6/7	途上	男	73	屋内作業	国道3号線交差点で、前走の車両が左折の為停止したので、自車も停止したところ、後続車に追突される。	首	打撲	○		
6/28	就業中	男	70	剪定	剪定作業終了後、脚立から地上に降りる際、脚立に立掛けていた剪定鋏に左手くるぶしが接触し手首の筋を損傷した。	左腕	腱断裂	○		
6/29	途上	男	75	施設管理	発注先の店から外へ出ようとして、躊躇様な状態で転倒し頭部を打撲、救急車で搬送され入院した。	頭部	打撲	○		

■損害賠償事故（5月1日～6月末日）

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
5/7	男	71	刈払	校内の刈払作業中に、エアコン室外機の配線を刈払機で切断した。
6/6	男	70	駐輪場	自転車を駐輪機のラックにセットして上げようとした時、固定が不適切で自転車が後退ってきて、後ろ車輪カバーに凹みと傷をつける。
6/18	男	68	駐輪場	駐輪中のバイクが正規の位置からずれて停められ、隣のバイクに当っていた。ずれたバイクを正規の位置にずらそうとしたがバイクラックが速度計のガラスに当り破損した。

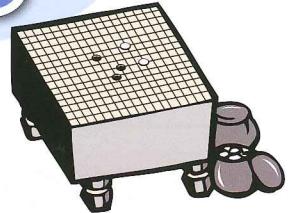
■自動車事故（5月1日～6月末日）

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
5/30	男	67	剪定	トラック荷台に、切倒した木の枝を積み込む際、誤って運転席後部の窓ガラスを破損した。



互助会だより

24年度 事業活動報告 囲碁大会結果報告



開催日時：7月22日（日）晴
 開催場所：中央出張所 会議室
 参加人員：39人
 結果：① 優勝 東出張所
 ② 準優勝 博多出張所

参加者募集

料理講習会



食を通じて親睦を図りましょう

開催日 (第1回) 9月20日(木曜日)
 10:00~15:00
 (第2回) 11月22日(木曜日)
 10:00~15:00

場所 ふくふくプラザ
 人数 それぞれに、35人
 持参する物 エプロン、三角巾、お手拭
 会費 400円(1回につき)
 募集締切 8月31日(金曜日)

ゴルフ大会

開催日 10月18日(木曜日)

開催場所 セブンミリオン
 カントリークラブ
 早良区小笠木103-1
 TEL 092-804-7000

プレー費 10,580円
 (キャディー・昼食代含む)

会費 2,000円
 (賞品代、パーティ代に充当)

募集締切 9月20日(木曜日)

歴史探訪 & ハイキング大会



※詳細は、8月号「シルバーだより」に封入
 しています、ご参照下さい。

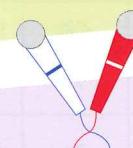
申込方法

会員番号・氏名・住所・年齢・性別・電話番号をご記入の上、ハガキまたはFAXにて各出
 張所の互助会業務委員宛にお申し込みください。なお、電話でのお申し込みはお受けで
 きません。

芸能大会予定

開催予定 平成25年1月11日(金曜日)

開催会場 ふくふくプラザ



活動報告書

●●● 第 14 回出張所対抗囲碁大会 ●●●



東出張所が完全優勝4勝0敗
準優勝博多出張所
選手登録 39 名（当日体調不良の為に3名欠席しました）

石崎互助会会長からの「日頃磨かれた腕を盤面に活かしていただき、熱戦後は和気あいあいと親睦を深めてもらいたい」との開会挨拶に引き続き、開催担当出張所の永富委員長から「昨年は城南出張所が優勝しましたが、本日の大会では各出張所の実力を充分に発揮し優勝めざして頑張って下さい。又、城南は連覇を目指し明るく、楽しく、元気な城南のモットーを忘れず頑張って下さい」と挨拶が

ありました。昨年優勝の城南出張所の神崎さんより荒木互助会代表幹事に優勝杯の返還があり、大会会長の花谷さんから、対局ルールと対戦の説明で、午前 10 時定刻にスタート、午前に2戦午後2戦で真剣に熱戦が繰り広げられ熱戦の末、昨年準優勝の東出張所が石崎会長の応援もあり見事優勝され、準優勝は博多出張所でした。おめでとうございます。

次回の第 15 回大会は早良出張所が開催予定のため、早良区互助会業務委員の天野さんより「健康に留意して元気で来年も参加されますよう」と歓迎の挨拶がありました。

最後に、荒木互助会代表幹事からの大会参加のお礼と無事終了したことのお礼、閉会挨拶で、第 14 回囲碁大会を滞りなく終えることができました。

参加者の皆様、暑さに耐え長時間にわたりお疲れさまでした。

城南区互助会業務委員 神園 久



優勝した東出張所

シリーズ

わが町の歴史散歩

27 城南区編

みこじんじゃ
御子神社



城南区樋井川3丁目の長尾病院の前に近在の人達から安産の神、子どもの守り神として崇められている御子神社があります。10月20日の秋季例大祭にはたくさんの子ども連れて賑わいます。

御祭神は、今何かと話題を集めているNHKの大河ドラマ「平清盛」の主人公である清盛の娘徳子と高倉天皇との間に生まれた安徳天皇です。数え年3歳で即位し、同8歳で亡くなった非運の天皇として知られています。源平の戦いで源氏が勝利したこともあり、平家に縁のある人物を祀る神社は下関市の赤間神社など、数えるほどです。御子神社はその数少ない神社の一つです。同神社が建立されたのは1245年とも言われていますが、定かではありません。

筑前国続風土記拾遺や神社の口伝によりますと、ある年の大晦日、安徳天皇が白馬にまたがり太宰府から糸島市吉井に行く途中、この地を通り過ぎようとして誤ってしめ縄に引っ掛け

かって落馬、井戸に落ちたとか。それが縁で祀るようになったとされています。以来、この地区では白馬を飼わない、井戸を掘らない、正月にしめ縄を張らないようになったそうです。

平家物語に「平家は筑紫に都を定めて内裏を造らるべしと、公卿詮議ありしかども、都いまだ定まらず。主上（安徳天皇）は其のころ、岩戸少卿大蔵種直（原田種直・筑紫の豪族）の宿処にぞましましける」のくだりがあり、筑前国続風土記拾遺の記述が荒唐無稽な作り話とは言い切れません。ちなみに、筑紫郡那珂川町に安徳という地区が昔からあります。

西日本は壇ノ浦の戦いとその後の追討戦が繰り広げられたところ。平家落人の里と語り継がれている集落が広く点在しています。皆さんの近くにも源平にまつわる史跡が眠っているかも知れません。例えば、北九州市八幡西区にある小さな祠「やから様」は、源氏の追っ手から逃れる平家方母子の悲しいエピソードに由来しています。また、小郡市の「池月の塚」は、源平合戦における宇治川の戦の際に、梶原景季と先陣争いを繰り広げた佐々木高綱が乗っていた黒栗毛の名馬池月（生食）にちなんだものです。

この機に源平縁の神社や史跡を巡る旅に出掛けませんか。意外な逸話に出会うかも知れませんよ。

広報委員 藤 勇三

参考：「平家物語」（第八卷）

事務局からのお知らせ

平成24年度 会費の口座振替について

シルバーだより6月号（第124号）でお知らせしましたとおり、7月20日に会費の口座振替を実施しましたが、預金残高の不足などで口座振替ができなかつた方がいます。

上記の方について、以下の日程で再度口座振替を実施しますので、実施日の前日までに、ご登録の預金口座へ入金をお願いします。

◎口座振替実施日 平成24年9月20日(木)

■■会費の口座振替「未登録」の方へ ■■

会費のお支払いがお済みでない方は、お早めに納入ください。

なお、会費を納入する際、口座振替の登録をしている方は、配分金等のお支払い口座から会費を振替で納入することができます。口座振替の登録を行うと金融機関へ出向く必要がなく、金融機関へ支払う手数料もかかりません。

まだ口座振替の登録を済ませていない方は、是非この機会にご登録ください。

健康診断を受診し、安全・適正に就業しましょう！

シルバーだより4月号（Vol.123）に同封致しました「健康診断の受診報告について」のご提出はお済みでしょうか？

就業されている会員の皆様を対象に、健康診断を受診していただき健康状態を確認することで、安全・適正に就業していただきたいと考えております。会員の皆様が健康で安全に就業されることは、会員ご本人にとどまらず、ご家族の幸せにも繋がるものと思います。

趣旨をご賢察の上、この取り組みにご協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

編集
後記

前回は東日本大震災があり危険予知の必要性を記述していましたが、人間ドックで異常が見つかり3か月入院することになりました。また7月は九州北部豪雨で浸水・土砂崩れなど多くの被害が起きました。ということで今回も予防（危険予知を含め）第一で安心・安全を心がけましょう。（K.Y）

「ふくおかシルバーだより」 発行元／公益社団法人 福岡市シルバーパートナーズセンター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目21-16

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

HP <http://www.fukuoka-sjc.org/> e-mail honbu@fukuoka-sjc.org

